

結果の要約

1 職業

東京都の15歳以上就業者数(5,915,533人)を職業大分類別にみると、「事務従事者」が1,438,445人(15歳以上就業者数の24.3%)と最も多く、次いで「生産工程・労務作業者」が1,168,805人(同19.8%)、「専門的・技術的職業従事者」が1,008,830人(同17.1%)などとなっている。平成12年と比べると、「保安職業従事者」が5,191人(6.2%)増、「サービス職業従事者」が5,962人(0.9%)増などとなっている。一方、「管理的職業従事者」が42,317人(18.7%)減、「運輸・通信従事者」が20,960人(10.7%)減などとなっている。

職業4部門別割合は、「事務・技術・管理関係職業」が44.5%と最も高く、次いで「販売・サービス関係職業」が29.0%、「生産・運輸関係職業」が22.7%、「農林漁業関係職業」が0.5%となっている。平成12年と比べると、「事務・技術・管理関係職業」が1.0ポイント上昇しているのに対し、「生産・運輸関係職業」、「販売・サービス関係職業」がそれぞれ1.3ポイント、0.2ポイント低下している。また、「農林漁業関係職業」は同率となっている。

「事務・技術・管理関係職業」＝「専門的・技術的職業従事者」＋「管理的職業従事者」＋「事務従事者」
「生産・運輸関係職業」＝「運輸・通信従事者」＋「生産工程・労務作業者」
「販売・サービス関係職業」＝「販売従事者」＋「サービス職業従事者」＋「保安職業従事者」
「農林漁業関係職業」＝「農林漁業作業者」

2 就業時間

15歳以上就業者の平均週間就業時間は41.1時間で、職業大分類別にみると、「運輸・通信従事者」が47.0時間と最も長く、次いで「保安職業従事者」が44.4時間、「販売従事者」が43.8時間などとなっている。平成12年と比べると、すべての職業大分類で減少となっている。特に、「サービス職業従事者」が2.6時間減、「農林漁業作業者」が1.6時間減となっている。

3 夫婦の労働力状態、職業

夫婦の労働力状態をみると、夫と妻ともに就業者である夫婦が1,100,923組(夫婦数2,742,494組の40.1%)と最も多く、次いで夫が就業者で妻が就業者以外である夫婦が969,248組(同35.3%)などとなっている。また、夫と妻ともに就業者である夫婦の職業をみると、夫が「販売従事者」、妻が「事務従事者」である夫婦が90,116組(夫と妻ともに就業者である夫婦数の8.2%)と最も多く、次いで夫が「生産工程・労務作業者」、妻が「事務従事者」である夫婦が89,230組(同8.1%)などとなっている。

4 従業・通学時の世帯の状況

従業・通学時の世帯の状況をみると、「通勤・通学者のみの世帯」は1,915,520世帯(住宅に住む一般世帯5,625,960世帯の34.0%)となっている。一方、通勤・通学者以外の世帯員がいる世帯は3,710,440世帯(同66.0%)で、このうち通勤・通学者以外の世帯員が65歳以上の「高齢者のみ」の世帯が1,070,336世帯(同19.0%)、「女性のみ」の世帯が932,654世帯(同16.6%)、「幼児と女性のみ」の世帯が262,188世帯(同4.7%)となっている。

図1 東京都の職業（大分類）別就業者数（平成12年，17年）

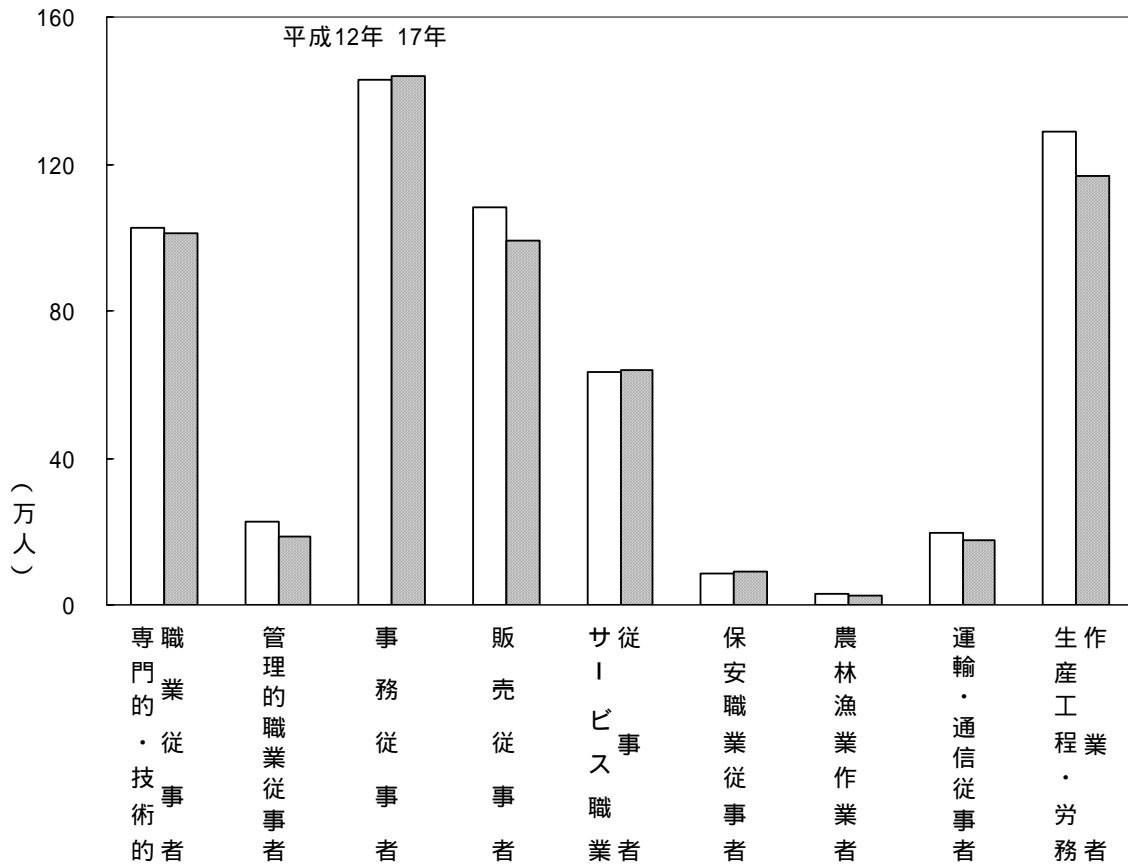


図2 東京都の職業（4部門）別割合の推移（昭和55年～平成17年）

